



包装廃棄物処理・リサイクルにおける DXとカーボンニュートラルの推進（仮）

講師

国立研究開発法人 国立環境研究所

社会システム領域・システムイノベーション研究室・室長

博士（工学）

藤井 実 先生

■日 時：7月7日（月）講演 15:00～17:30（質疑応答含む）

懇親会 17:30～

■会 場：きゅりあん 6F 大会議室（東京都品川区東大井5-18-1／大井町駅 徒歩約2分）

■共 催：技術士包装物流会・日本包装専士会

■後 援：日本包装管理士会・日本包装コンサルタント協会

■申し込み方法、参加費、Web配信は調整中

藤井実先生のご紹介

研究課題	資源循環システムの設計と評価
ご専門の分野	循環型社会、地球温暖化対策
最近のご研究	・地域との協働による環境効率の高い技術・システムの提案と評価（2021-2025年） ・プラスチック等脱炭素広域循環経済と食品廃棄物地域循環による環境・経済効果の最大化（2022-2024年） など
対外活動、兼務	一般社団法人LCCN推進研究会 代表理事 高度資源循環・デジタル化推進協議会 会長 名古屋大学大学院環境学研究科・客員教授 東京大学大学院新領域創成科学研究科・客員教授

講演の趣旨

リサイクルビジネスが業界として持続可能な成長を遂げていくには、デジタルトランスフォーメーション（以下、「DX」という。）の推進により、脱炭素社会・循環経済に資する価値提供を行う必要がある[1]。さらに近年、第五次循環型社会形成推進基本計画でも言及されたネイチャーポジティブ（自然再興）への寄与も求められる中、DXによる包括的な対策がますます重要になる。これらのDXの推進の必要性は、容器包装やその廃棄物のリサイクルも例外ではない。

今回は、国立研究開発法人 国立環境研究所・社会システム領域・システムイノベーション研究室の藤井実室長を招へいし、廃棄物処理・リサイクルにおけるDX推進についてご講演いただく。

[1]廃棄物処理・リサイクルにおけるDX推進のための研究会（2022）、
廃棄物処理・リサイクルに係るDX推進ガイドライン ～処理事業者編～

講演概要

- ・藤井先生は、廃棄物処理・リサイクルにおけるDX推進のための研究会に参加されています。同研究会は、「高度資源循環・デジタル化推進協議会」と「廃棄物資源循環学会」の「情報技術活用研究部会」が共同設立したものです。
- ・2024年9月3日のCLOMAフォーラム2024では、「プラスチックの製造・廃棄を見据えた廃棄物資源循環の考え方」という演題でご講演されました。このご講演のメインは、ケミカルリサイクルの効率を上回るエネルギー効率で焼却・蒸気供給+CCUを実現することを目指す、Life Cycle Carbon Neutral (LCCN)の技術についてでした。また、北欧のプラスチックリサイクル施設を視察されたお話もありました。
- ・廃棄物処理・リサイクルにおけるデジタル化推進について、双方向の意見交換の場になるよう講演会を企画したいと考えております。